6）植　　物



雄島のヤブニッケイ（三国町）

福井県は、白山山系の西の端にあり、また対馬海流の北上やリマン海流の南下する日本海に面しています。このため、白山山系からは北方系の植物が入り、逆に南からは暖地性の植物が入り込むなど、植物分布上も興味ある地域となっています。

植生の面からみると、日本海沿岸の島や社叢ではタブやスダジイ、ツバキを主とする照葉樹林が認められています。低山帯はクロマツ林に続いてアカマツ林やコナラ、クリなどの二次林となっていますが、近年は植林が進みその大部分はスギ林となっています。

奥越の山岳地帯はブナ林に代表される紅葉の美しい夏緑広葉樹林となっており、山頂部の一部には、高山植物の花畑もみることができます。

また、本県には２つの特色ある原生林が分布し、このうち暖帯林については、小浜湾の蒼島や三国町の雄島が特にすぐれており、ナタオレノキ、ムサシアブミ、ヤブニッケイなどの暖地性の植物をみることができます。

一方、ブナ林については、県境付近や自然公園内の赤兎山～経ケ岳、西方ケ岳、蝮蛇ケ岳に比較的豊かに残っていますが、全県的には、近年、著しく減少してきています。

県では、池田町の樹俣地区や敦賀市の池ノ河内地区を自然環境保全地域に指定するとともに、特に大野市刈込池周辺のブナ林については土地の買い上げを行うなど、その保全に努めています。

このように、多彩な植生分布がみられる本県では、県の花としては水仙が、県の木として松が指定されているとともに、各市町村においても、その地域の代表的な植生を反映した植物を「市町村の木、花」として指定しています。

これらの市町村の木、花は、大野市のこぶし通りに見られるように、街路樹として植樹した上で通り名とされたり、また、各地においては公園の樹木や花壇に用いるなど、郷土らしさを演出したアメニティ資源としての利用が進められています。

今後、貴重な植生の保全を図っていくとともに、市の木、花の有効利用や地域活動における花いっぱい運動などを通して、身近に緑にふれあうことのできるアメニティづくりを進めていくことが必要です。

県の木

『松』



清そで、岩や砂地にもたくましく育つ生命力は、質実剛健な県民性の象徴といわれています。

（昭和41年９月指定）

県の花

『水仙』



日本海のきびしい風雪に耐え、寒中に咲くこの花の忍耐強さは、県民性に通ずるといわれています。

（昭和29年５月指定）

市町村の木、花一覧表

市町村名	市町村の木	市町村の花
福井市	松	あじさい
敦賀市	松	はぎ
武生市	竹	菊
小浜市	もみじ	つつじ
大野市	けやき	こぶし
勝山市	杉	さつき
鯖江市	つつじ	つつじ
美山町	杉	つつじ
松岡町	松	菊
永平寺町	けやき	あじさい
上志比村	けやき	菊
和泉村	ぶな	しゃくなげ
三国町	黒松	あじさい
芦原町	松	花しょうぶ
金津町	梅	梅
丸岡町	もみじ	花しょうぶ
春江町	いちい	ゆり
坂井町	けやき	—
今立町	もくせい	さくら
池田町	杉	しゃくなげ
南条町	—	—
今庄町	とちの木	しゃくなげ
河野村	松	水仙
朝日町	杉	さざんか
宮崎村	竹	山ぼうし、花しょうぶ
越前町	松	水仙
越廼村	トベラ	水仙
織田町	松	もくせい
清水町	きんもくせい	きんもくせい
三方町	しい	梅
美浜町	松	つつじ
上中町	赤松	あじさい
名田庄村	杉	しゃくなげ
高浜町	杜仲	はまなす
大飯町	やまもも	つつじ

7）動　　物

県の鳥
『つぐみ』



毎年、晩秋になるとシベリアから日本海の荒波を越えて、多くのつぐみが本県にわたってきます。
（昭和42年12月指定）

■鳥　獣

本県は、県鳥のツグミをはじめとして、大陸圏に繁殖地を持つ数多くの冬鳥の主要な渡来経路にあたっており、県内の林野は、その休息地あるいは越冬地となっています。また、日本列島を往来する鳥類も、中部山岳地帯を境として、日本海側を移動する多くの種類が知られ、特に、シジュウカラ、ヤマガラをはじめとする森林性の鳥類は豊富に見ることができます。これらの渡り鳥は、県内で記録される全鳥類の３分の２を超えています。

また、昭和41年には武生や小浜で全国的に貴重なコウノトリが見かけられましたが、現在ではその姿を見ることはできません。

特色ある鳥類としては、若狭地方の三方五湖を中心に希少なオオワシ、オジロワシなどの飛来が例年記録されているほか、イヌワシが少数ですが山岳部に生息し、貴重な存在となっています。

獣類では、特徴的なものはありませんが、山地部においては天然記念物のニホンカモシカ、ヤマネをはじめ、ニホンツキノワグマ、ニホンザルなど、数多い種類の生息が確認されています。

これら本県の鳥獣は、自然の豊かさや四季の変化を県民に感じさせるものであり、その保護を推進していくとともに、野鳥観察の森や施設整備を通して、鳥獣とのふれあいの場の創造を図っていくことが必要です。

アメニティ・トピックス

〈身近にみられる野鳥〉

本県には、いろいろな場所で数多くの野鳥が生息していますが、この内、身近にみられる野鳥の種類は30種ぐらいといわれています。

これらの野鳥は、美しい鳴き声で県民の生活にうるおいややすらぎをもたらしてくれるとともに、種類や数の多さは県土の自然の豊かさの象徴でもあり、身近なアメニティ資源として位置づけられます。

県内でも、探鳥会等の同好会が各地につくられ、バードウオッチングなどの施設も三方五湖や敦賀市猪ケ池、織田町六所山などにつくられています。

また、三国町に福井県支部を置く日本野鳥の会では、例年、野鳥の数量調査（日野川の水鳥、越前海岸のワシ・タカ類など）や展示会・会報の発行等、様々な活動を行っています。

近年、こうした愛鳥活動の普及等によって、工場敷地内に野鳥を呼び寄せるための巣箱やエサ場を設置している事例が見受けられるようになりました。

右の表は、福井市に住む野鳥をとりまとめたもので、この中でアンダーラインで表示された野鳥は、身近に見られる30種です。

	一年中見られる野鳥（留鳥）	春から夏にかけて見られる鳥（夏鳥）	秋から冬にかけて見られる鳥（冬鳥）
街の野鳥	スズメ　ムクドリ カワラヒワ　オナガ キジバト　トビ ハシボソガラス	ツバメ コシアカツバメ	ジョウビタキ
村や里山の野鳥	ヒヨドリ　ホオジロ モズ　シジュカラ ヤマガラ　コゲラ セグロセキレイ　キジ カケス　ヒバリ フクロウ　アオゲラ ケリ　ハシブトガラス エナガ　メジロ	サシバ アマサギ アオバズク サンショウクイ	ツグミ　ウグイス イカル　シメ ルリビタキ　タゲリ ウソ　アオジ カシラダカ　シロハラ ミヤマホオジロ マヒワ　アトリ ハクセキレイ
川や湖の野鳥	コサギ　アオサギ カルガモ　キセキレイ カワセミ　ヤマセミ ゴイサギ　カイツブリ イソシギ	オオヨシキリ ササゴイ　コチドリ イカルチドリ コアジサシ	マガモ　コガモ ヒドリガモ オナガガモ　ヨシガモ ハシビロガモ　マガン キンクロハジロ スズガモ　ヒシクイ コハクチョウ カンムリカイツブリ
海辺の野鳥	イソヒヨドリ　ミサゴ クロサギ　ウミネコ ハヤブサ	イワツバメ	カモメ　ユリカモメ ウミウ　カワウ ヒメウ
山の野鳥	イヌワシ　クマタカ ハイタカ　ツミ ヤマドリ　アカゲラ トラツグミ　コガラ ゴジュウカラ　ヒガラ ミソサザイ	コノハズク アカショウビン キビタキ　コルリ ブッポウソウ サンコウチョウ クロツグミ　オオルリ	

（表は、福井市を中心に作成したものです）　（資料：自然はともだち－ふくいの野鳥－）